

宮崎東病院における新型コロナウイルス感染症対応について

宮崎東病院 院長 伊井 敏彦

当院の新型コロナウイルス感染症対応について 1) 感染症の診断と治療 2) 院内感染防止 以上2点を実践しながら、通常診療を継続することが病院の責務と考えております。内容について説明させていただきます。

1) 診断と治療について

- 発熱外来（発熱患者さんを優先に診療する専門外来）は実施していません。当院にかかりつけの患者さんの発熱や急性の呼吸器症状に対しては、通常の外来において、発熱患者さん専用の待合室を設けています。
- 感染症外来として、コロナ療養中の方を専用の診察室で対応しています。胸部 X 線や CT 検査、血液化学検査などを実施し、必要な場合は抗ウイルス剤や鎮痛解熱剤などを外来処方します。
- 入院診療について、コロナ専用病床を運用しています。入院治療が必要と判断された、軽症から中等症の患者さんを入院治療しています。

2) 院内感染防止について

- 職員は、患者対応中は必ずマスクを着用し、必要時はフェイスシールドを併用しています。

来院される皆様にも、マスク着用をお願いしています。

- 手指衛生については、院内各所に手指消毒剤を設置しています。
- 密になる待合室や診察室では定期的に換気をし、ドアノブ、椅子の手すり、座面等接触面の消毒を行っています。
- 発熱患者さんの待合場所を別に設けています。
- 職員にはコロナワクチン接種を推奨しています。
- 院内への感染拡大防止のため、入院中の面会や外出・外泊を制限しています。

感染症対策のため患者、家族の皆様には大きなご負担をおかけしますが、コロナ禍の克服のためご理解とご協力をお願い申し上げます。

新型コロナウイルス関連情報

① マスク着用のお願い

新型コロナウイルス感染症対策のため、来院される方はマスクの着用をお願いいたします。
できる限り不織布マスクでお願いします。

② 面会制限のお願い

新型コロナウイルス感染症対策のため、面会時間、面会場所の制限を行っております。
面会方法については病棟毎で異なりますので、詳細は病棟へお問い合わせください。

③ 外出・外泊制限のお願い

新型コロナウイルス感染対策のため、患者さんの外出・外泊中の過ごし方について
制限をさせていただいております。詳細は病棟へお問い合わせください。

可能な限り **不織布マスク** をお願いします。

不織布マスク



飛沫の通しやすさ

約20%

ウレタンマスク
(布製手作りマスク等も)



飛沫の通しやすさ

約50%